

環境研究総合推進費 研究概要・概要図

研究区分	革新型研究開発（若手枠 A）
研究期間	2026 年度（令和 8 年度）～2028 年度（令和 10 年度）
研究課題番号	1RA-2601
体系的番号	JPMEERF20261RA1
研究課題名	ASEAN 諸国における水環境政策変遷要因に基づく技術ニーズの中長期展望
Project Titles	Mid-to-Long-term Outlook on Technology Needs in ASEAN Countries: Drivers of Change in Water Environmental Policy
研究代表機関	公益財団法人 地球環境戦略研究機関
研究代表者	金澤 推
研究領域	統合領域
研究キーワード	水環境行政、ASEAN、政策変遷、WEPA（アジア水環境パートナーシップ）、技術ニーズ予測

2026（令和 8）年 4 月



環境研究総合推進費
Environment Research and Technology Development Fund



独立行政法人
環境再生保全機構
ERCA
Environmental Restoration and Conservation Agency

研究の概要

ASEAN 諸国では水環境問題が深刻化する一方で、日本の水インフラ海外展開は低迷しており、各国の水環境管理に関する政策変遷や行政課題、将来の技術ニーズに関する分析基盤が求められている。これに対応するため、本研究は、ASEAN 諸国における水環境政策の変遷を体系的に解明し、その知見を基に中長期的な技術ニーズを提示することを目的としている。まず、各国の水環境関連政策や国際援助、企業実績を基にしたデータベースを構築し、WEPA(アジア水環境パートナーシップ)資料のテキスト分析や多変量解析により、行政官視点の動向を明らかにする。これらに、産業・環境・国際動向等の指標を照合し、政策制定/改定時の前後変化から、政策変化の要因構造を構築する。このモデルを用いて、今後 5～10 年程度の政策変化や規制対象候補を推定し、対応する技術を提示する。本研究は日本インフラ輸出戦略強化とアジアの持続可能な発展に大きく貢献するものである。

研究の全体概要図

